



平成30年度 名古屋大学COI
人がつながる “移動”イノベーション拠点シンポジウム

モビリティ革命から始まる 地域イノベーション

研究成果・活動報告

「モビリティブレンド(Mobility Blend®)」

交通不便地における高齢者の移動を支援するサービス

協調領域研究 モデルコミュニティ形成グループ
水野 真一

春日井市まちづくり推進部ニュータウン創生課 課長

平成31年3月14日



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



国立研究開発法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency

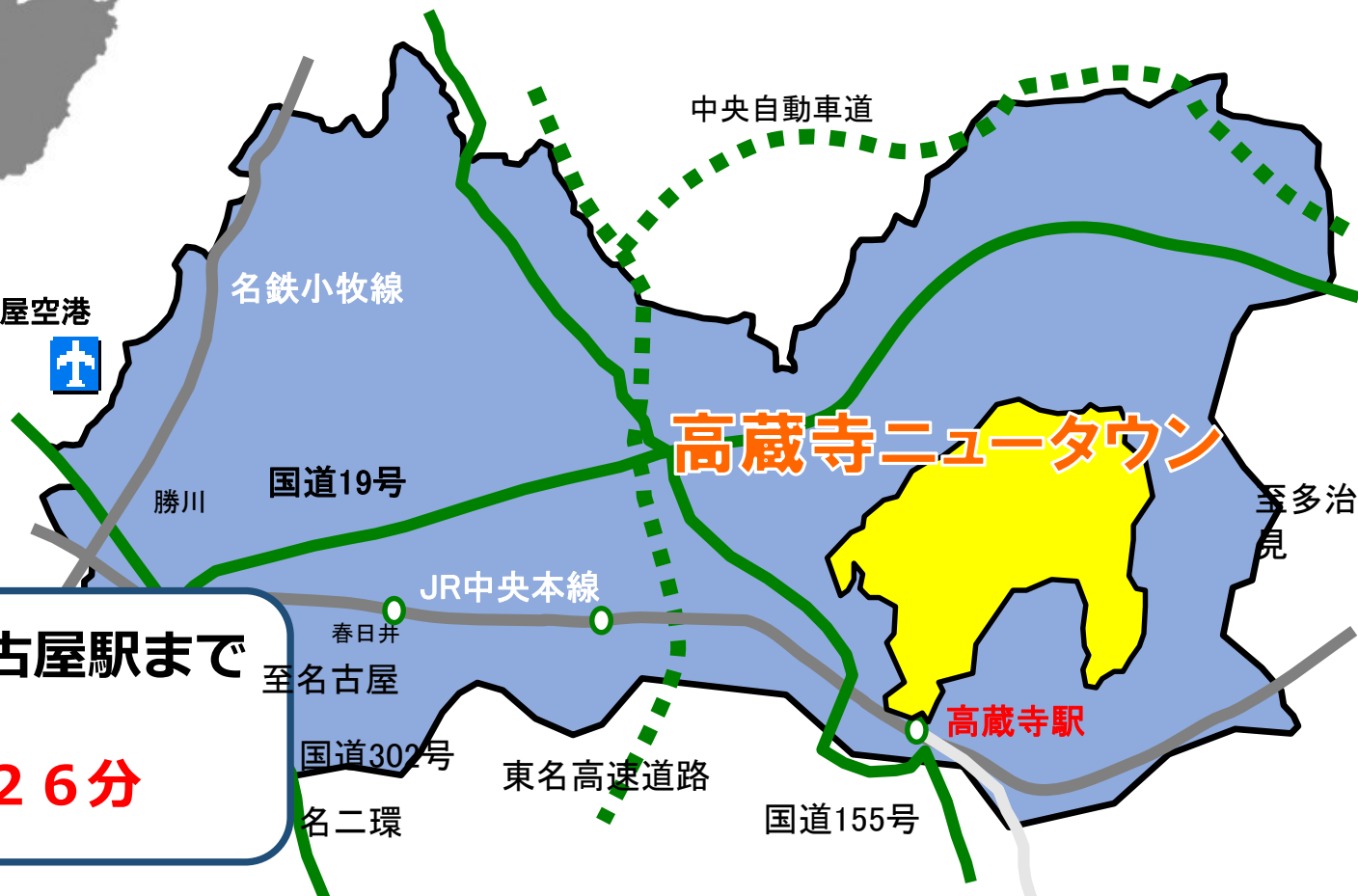


名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY





利便性の高い交通ネットワーク



高蔵寺駅から名古屋駅まで

J Rで**最速26分**

- ◆坂道の移動困難性の克服
- ◆高齢者の外出機会の減少
- ◆バス本数の減少（人口ピーク時の約 3 / 4）
- ◆バス停から自宅等までのラストマイル問題

など



名古屋大学COI正式参画、共同研究契約締結

★名古屋大学と更なる連携強化、プロジェクトの推進



春日井市
kasugai City



モビリティサービス実証実験及びシステム設計

★配車アプリを活用した「相乗りタクシー」「ボランティア輸送」実証実験

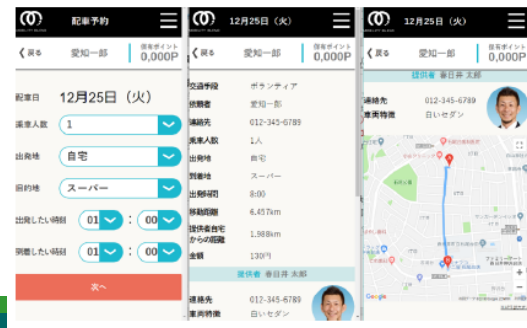
★ラストマイル自動運転車両と配車アプリの連動実証実験

★モビリティサービスにおける需要分析及びシステム設計

⇒高蔵寺ニュータウンにおける各種モビリティサービスの早期の社会実装を目指す

春日井市 × 名古屋大学 × 厚生労働省東海北陸厚生局

★3者連携によるモビリティサービスの推進強化（10/26記者会見）



相乗りタクシー、ボランティア輸送利用手順

モニター登録

モビリティブレンド専用サイトにアクセスして、必要情報を入力してモニター登録
(スマートフォン等をお持ちでない方は、実証実験事務局に電話をして登録)

配車登録

登録時に、2,000円/人のポイントを付与します。

専用サイトにログインして、乗車希望日時や乗車人数、出発地、目的地など
を入力 (スマートフォン等をお持ちでない方は、実証実験事務局に電話をして
配車予約)

- ☐ 相乗りタクシー
- ☐ ボランティア輸送
- ☐ 通常タクシー※

※相乗りタクシー、ボランティア輸送がマッチングしない場合に通常タクシーの利用を希望するもの

**希望するサービスを選択
(複数選択可能)**

マッチング成立

指定した場所に配車

マッチング不成立

他の移動手段を確保

相乗りタクシー等実証実験実績

登録者数

モニター **196名** （一般モニター 64名 高齢者モニター 132名）
ボランティアドライバー **8名**

リクエスト数

合計リクエスト数 **82件**

相乗りタクシー **72件**

ボランティア輸送 **10件**

マッチング数

合計マッチング数 **75件**

相乗りタクシー **36件**
(5件)

ボランティア輸送 **7件**
(2件)

通常タクシー **32件**
(0件)

() はマッチング不成立件数

内閣府「近未来技術等社会実装事業」の事業選定

- ・近未来技術等を活用した地方創生に関する提案を募集し優れた事業を関係府省庁が総合的に支援。
- ・春日井市「高蔵寺ニューモビリティタウン構想事業」を含む14事業が選定。

「高蔵寺ニューモビリティタウン構想事業」

自動運転車両、パーソナルモビリティなど、**新たなモビリティサービスと既存交通とのベストミックス（モビリティ・ブレンド）**を模索し、地域の特性に応じた適切なモビリティサービスの社会実装を実現することで、**ニュータウン型MaaS（Mobility as a Service「移動のサービス化」）**の構築による、**先進技術による快適なまち『高蔵寺ニューモビリティタウン』**を目指すもの

高蔵寺ニュータウン先導的モビリティ検討会議

各省庁の参画により発展

10/26 第1回実装協議会開催（全国初開催）



『春日井市近未来技術地域実装協議会』

『春日井市近未来技術地域実装協議会』

春日井市近未来技術地域実装協議会

春日井市（事務局：ニュータウン創生課事務局）

名古屋大学未来社会創造機構
（座長：森川教授）

トヨタ自動車(株)

アイサンテクノロジー(株)

名鉄バス(株)

市内タクシー組合

愛知県

高蔵寺まちづくり(株)

UR都市機構中部支社

国土交通省都市局（オブザーバー）

国土交通省中部地方整備局
（現地支援責任者）

国土交通省
中部運輸局

総務省
東海総合通信局

経済産業省
中部経済産業局

厚生労働省
東海北陸厚生局

警察庁
交通局

文部科学省
科学技術・学術政策局

相互連携による
ニューモビリティタウン構想の推進

先導的モビリティを活用したまちづくりを進めることで

- ・子育て世代の流出防止、定住促進
- ・高齢者の外出機会の増加
- ・坂道などの地形的ハンディの克服 などが期待

既存の郊外住宅団地が持つ課題の解決により、

- ・高齢者が気軽に外出できるまちづくり
- ・子育て世代が車に頼らず暮らせる持続可能なまちづくり

を進めてまいります。

御清聴ありがとうございました